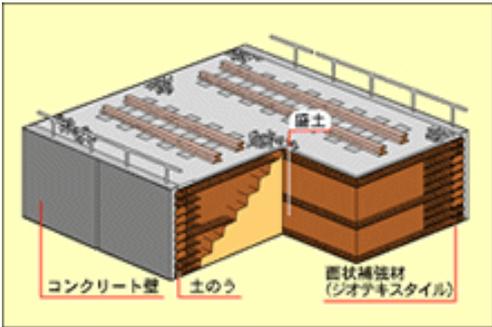


商品・工法名称	「RRR 工法」 剛壁面補強土工法												
商品・工法の分類	■瓦礫処理、□除染作業、□除染仮置き、■復旧・復興、□その他												
商品・工法概要	<p>ジオグリッドを用いた補強土工法。パネル式の補強土工法に代わり高品質の機能を要求される盛土として、東北新幹線、九州新幹線の盛土構造物で多くの実績がある。剛な壁面との組合せ施工により耐震性に優れた盛土構造物を構築することができる。阪神淡路大震災では、優れた耐震性が確認・検証された。</p> <p>さらに、コンクリートで被覆された安定した構造物として、津波被災地の海岸堤防の復旧工としての採用が期待できる。</p>												
商品規格・概略図等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">東海道本線 神戸タナタ地区 (阪神淡路大震災で耐震性確認)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">信越本線 小千谷付近 (新潟県中越地震災害復旧)</p> <p style="text-align: center;">RRR工法用面状補強材ジオグリッド</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>KJV-30W</th> <th>KJV-60W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目 合</td> <td>15×21mm</td> <td>15×23mm</td> </tr> <tr> <td>製品形態</td> <td>2×30m</td> <td>2×30m</td> </tr> <tr> <td>製品保証値</td> <td>41kN/m</td> <td>81kN/m</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">備考：タテ方向、ヨコ方向同強度</p>	名 称	KJV-30W	KJV-60W	目 合	15×21mm	15×23mm	製品形態	2×30m	2×30m	製品保証値	41kN/m	81kN/m
名 称	KJV-30W	KJV-60W											
目 合	15×21mm	15×23mm											
製品形態	2×30m	2×30m											
製品保証値	41kN/m	81kN/m											
使用・施工条件 適応場所など	一般的な盛土構造物として多彩な場所に計画できる。												
その他必要資材	壁面工施工前の盛土表面には仮抑え工として、土のうや溶接金網が用いられる。												
使用・施工上の留意点	補強材に抵触しない部分の盛土材としてガレキなどを使用することも可能である。適切な盛土材の締め固め管理を行うことで強固な盛土体を構築することができる。												
維持管理	基本的にメンテナンス無しで永久構造物として機能するが、地盤と盛土の変状を観測することなど、地盤工学的な管理を行うことが望ましい。												
経済性	ジオテキスタイルを用いた補強土工法の中では高価な工法であるが、安定性、耐震性や侵食性などにおいて、最も高品質な構造物である。												
参考文献	「新しい補強土擁壁のすべて」 龍岡文夫監修 総合土木研究所												
問合せ先	<p>太陽工業(株) 国土環境エンジニアリングカンパニー 東北支店 担当：廣瀬 (ひろせ) Tel: 022-227-1364 fax: 022-266-9589 e-mail: hs003176@mb.taivokogyo.co.jp</p>												